

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 29年 6 月26日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490900234		
法人名	株式会社サンクリエイト		
事業所名	あやめが丘グループホーム		
所在地	広島県三原市沼田西町惣定66番308 (電話) 0848-86-1211		
自己評価作成日	平成29年5月23日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigyosyoCd=3490900234-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成29年6月14日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

基本理念に掲げた、「出会い」・「ふれあい」・「助け合い」の気持ちを大切にシケアに取り組んでいます。家庭的な環境の中で無理なくゆったりとした時間が過ごせ、入居者と職員の関係がご家族様に少しでも近づき、笑いの絶えない生活がおくれるよう支援しています。また、近隣の一般ボランティアや学校やこども園との交流も年々関わりが深まり、行事など事ある事に参加していただき、こども園とは互いが行き来しながらふれあい交流の場を設けています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

三原市西部の団地の中に位置し、豊かな自然に恵まれたグループホームです。住環境は、毎日の掃除により清潔に保たれており、敷地内の家庭菜園で野菜等を育てている。周辺の団地は新しい団地でもあり、地域との関わりが難しい状況ではあるが、地域に根ざす為に積極的に関わりを持つ努力を続けている。また、隣接するこども園の行事や団地の行事等を利用し、徐々に良好な関係を構築している。
基本理念にもある「出会い」・「ふれあい」・「助け合い」を実践するために、地域との交流や関わりを大切に、地域の学校との交流も定期的に行っている。
子供達や地域住民等との「出会い」・「ふれあい」だけではなく、今年度からはドックセラピー等を活用し、利用者の生活をより豊かにする取り組みを今後も継続したいと考えている。

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践に近づけている。	各職員の名札の裏に、施設の基本理念「出会い」「ふれあい」「助け合い」を記載し、都度個々が振り返り理念に沿った支援が出来る様に心がけています。	月1回のフロアーミーティングで理念や考え方を共有し、理念の共有に努めている。 施設の基本理念は、利用者に対してのみ使用するのではなく、職員間でも「出会い」「ふれあい」「助け合い」の大切さを重要視し職員の教育に活用している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地域の行事等、地域の方に声をかけて頂き、参加させてもらっています。 又、隣接のこども園や施設の行事で、園児さんやボランティアの方と交流しています。	周辺の団地は新しい団地でもあり、地域との関わりが難しい状況ではあるが、こども園の行事を活用し親世代と交流したり、地域の学校の吹奏楽部に来てもらったり、近所のお宅で開催されるお花見に参加したりしながら、利用者と地域のつながりを少しずつ構築している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	管理者が地域の集会所や民生委員の方と通じ認知症への理解や支援方法などを話し合い地域貢献できるように努めています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	二カ月に一度、ご家族代表、民生委員、町内会長、包括支援センター、市役所職員に参加して頂き、沢山の方のご意見を頂き、より良いサービスが提供出来る様話し合いをしています。	現状を報告し相談・検討を行い、頂いた意見等を参考にサービスの向上に取り組んでいる。 日頃から家族・民生委員・行政等との交流を大切にし、頻繁に意見等を聞いていることもあり、会議の場での意見が少ないと感じる時もあるが、今後も話し合いの場として活用したいと考えている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	こちらから疑問や相談があれば高齢者福祉課の職員に相談・助言を頂くなど普段より連携が取れる様努力しています。	管理者は、相談したいことがある時や保険者の人事異動後には直接訪問し、担当者と直接話をするようにしている。 相談する担当者を固定することにより、早期に関係が構築できるように努力している。	

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職員同士の声掛け、見守りで離設を防ぎ、互いに知識を教え合い身体拘束をしないケアの実践へと努めています。</p>	<p>玄関は、日中開放している。医師及び家族と相談し、一時的に車椅子対応の方に固定ベルトを使用していたが、フロアミーティング等を活用し見直しを行い使用を中止している。ベッドからの転落のリスクがある利用者に対しては、医師の勧めもありベッド柵を利用している。</p>	<p>本人の状態に留意しながら、超低床タイプのベッド等の福祉用具を提案・活用し、今後も身体拘束をしないケアの実践を継続することを期待する。</p>
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止の講習に参加したり、資料に目を通す等、常に職員同士で学ぶ姿勢を持ち、声を掛けあい防止に努めています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>施設全体で勉強会を行う時間を設けて色々な制度を学習出来る様に勉強会の内容に入れていきたいと思っています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>必ず管理者が、入居前・入居時・退居時に十分な説明を行い納得して頂いています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>フロアにご意見箱を設置しご家族からの要望等は、職員一人ひとりが把握出来る様、申し送りやノートを活用し、反映出来る様にしています。</p>	<p>毎月のホーム便りに、担当職員から生活状況等の情報を添えている。家族等の面会頻度が、月平均1～2回と比較的多く、面会の時に担当の職員と話しをしたいと希望される家族もいる。その際に意見や要望を聞き、フロアミーティング等で検討し、反映する仕組みを構築している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に一度フロアーミーティングを行い、意見や提案、業務連絡を行っています。又随時、担当者会議を行い、運営に関する連絡なども行っています。二カ月に一度、施設全体のミーティングを行う予定です。	日々の雑談を通じて、職員の心の変化を読み取るようにしている。必要に応じてヒアリング等を行い、意見や提案を聞く機会を確保している。月に一度フロアーミーティング等で意見や提案を検討し、反映する仕組みを構築している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	管理者によるヒヤリングを通し、職員から個々に話を聞き、可能な限り環境・条件の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	随時、研修への参加を促し時には勉強会を行い、職場でも活用する様に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	地域の町内会やボランティアなどを通じて、交流や情報交換を行い、同業者と交流する機会を作って頂く様に相談させてもらいながら各方面の情報交換を行うように努めています。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	管理者が、施設見学の際などに入居されるご本人と面談を行い、ご家族様を含め納得・安心して頂ける関係づくりに努めています。		

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>サービス利用前に、サービス内容を詳しく説明し、ご本人や家族様の要望などその都度確認し、信頼関係が保たれる様に努力しています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>入居される前に、必ず居住されている所へ行き、面談を行い入居され必要とする支援を含めたサービスプランになるように努めています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>ご本人の体調も考慮し可能な限り、家事や展示する作品作り等、様々な事に協力して頂き、職員とも共同生活をしていると感じて頂けるような環境づくりをし、良い関係が築けるよう努力しています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>面会時や電話等で、その都度近況を報告し、ご家族とも良い関係を築けるよう努力しています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご本人やご家族様の希望がない限り面会者の規制は行わず、近所の方や知人の方等、面会に来られた際には、話をしやすい様に環境を整えたり、ご本人の希望があれば、お手紙を送れるよう声かけ・支援を行っています。</p>	<p>馴染みの人との良好な関係やふれあいが継続できるように、家族及び知人等が来訪しやすい雰囲気を作ることができるよう、理念を基に接遇の指導をしている。</p> <p>月1回～2回のドライブで馴染みの場所に行くことで、大切な場所の記憶や思い出が途切れないように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	見守り・声かけを行い、入居者が孤立を感じる事のないように、入居者同士や職員との関わりを通し穏やかで安心した生活を送って頂けるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退居されても情報書類は保管し、ご家族の相談の連絡があれば、相談や支援に努めています。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者それぞれに担当の職員を決め、一人ひとりと向き合い本人の意向を少しでも多く把握出来る様努め、それをケアに反映できるようにしています。	新聞広告やテレビのCM等を活用し、食べたい物等、会話の中で、一人ひとりの思いや暮らし方の希望や意向の把握に努めている。把握した希望や意向は、ドライブ・食事・行事等を利用し、可能なことは実現できるように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居前のアセスメント時や入居時のアセスメントで、ご本人やご家族にこれまでの暮らしをお聞きしたり、普段のコミュニケーションにより、情報収集出来る様努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ご本人の無理のないよう、見守り・声かけを行い、ご本人のペースで家庭での生活に近い状態で日常生活を送って頂いています。		

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>入居者それぞれの担当者がモニタリングの見直しを行い、月に一度のフロアーミーティングで意見交換をし、その都度、計画作成者へ相談し介護計画を作成しています。</p>	<p>担当者を決めることで、課題やケアのあり方等について、中・長期的な視点で現状に即した介護計画を作成している。</p> <p>月に一度のフロアーミーティングで、他の職員の意見等を聞くことで、多面的な見方やアイデアが反映しやすい環境を構築している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子やご本人の訴え対応など、個別に記録し、職員同士は申し送りノートを活用し、情報を共有する中で、介護計画の見直しにも活かしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>随時、ご家族やご本人よりサービスの変更や追加等あれば、そのニーズに対応し、支援が行えるように努めています。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>ご本人の意思を尊重し、出来る事は積極的に行ってもらい、難しいところは見守り・支援を行うことで職員はご本人が、心身の力を発揮出来る様支援しています。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>月二回、協力医院の往診や必要に応じて、歯科往診もして頂いています。急変時の連絡も密に行い、症状によっては他病院への紹介なども行っています。</p>	<p>多くの利用者が、協力医の訪問診療を利用している。</p> <p>他の医療機関への受診を希望される場合は、緊急の場合を除き、家族等に対応を依頼している。</p> <p>役割を残すことで、信頼する医師及び家族等との関係が途切れないように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	現在は看護師職員が不在の為、体調不良や普段とは違う症状等、その都度主治医の先生へ相談し、適切な指示やケアが受けられるよう支援しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、病院関係者と情報交換し、互いに看護・介護サマリーなどを送り、必要時退院前のカンファレンスに参加させて頂いています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居の際に、重度化した場合の受け入れ可能な施設への申し込みを行って頂く様話をしたり、各事業所にも空き情報を聞くなどの支援にも取り組むようにしています。	重度化した場合や終末期のあり方については、主治医を中心に早い段階から本人及び家族等と話し合いを行い、本人にとって最良の選択ができるように支援している。 事業所等、地域の関係者と情報の共有を図りながら、チームでの支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	研修にて救急隊員の方から急変時の対応やAEDの使用方を職員全員が学習し、随時施設内で介護職員による急変時の対応の勉強会を開いています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	半年に一度、災害訓練を行い、マニュアルを作成し、職員がそれぞれ対応出来る様体制をつくり、年に一度隣接のこども園と合同で災害訓練を行っています。	隣接するこども園等、地域との協力を重要視し、年に1回はこども園と合同で災害訓練を行っている。 夜間想定や、AED（自動体外式除細動器）等を利用した災害訓練も定期的に行っており、マニュアルを基にした職員教育にも注力している。	

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	「親しき仲にも礼儀あり」の言葉を意識し、入居者一人ひとりに対し尊重し、又身近な職員間にも同様に対応しています。	日々の関わりのなかで礼儀を重んじ、日々の会話のなかで誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応を常に意識している。 職員同士であっても、同様の対応ができるように、日々の会話のなかでも礼儀を意識しながら業務を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	入居者様より思いや希望の訴えなどがあれば可能な限り提供し、選択肢の中で自己決定できるように支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者一人ひとりの思いや体調、今までの暮らし方に考慮し、ご本人の希望やペースに沿って支援しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	訪問理容や美容、日常の中で髪の毛の整え方や思いの服を着て頂けるように声かけ・見守り支援を行っています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	好みの物をお聞きし、変更できる場合、変更し食事で提供したり、おやつ作り（たこ焼き・ケーキ・ぜんざい等）を共同で作っています。又、食事の際には、テーブル拭きや食器洗いを手伝って頂いています。	基本的に、3食外注のサービスを利用しているが、利用者から要望等があった場合は、可能な限り食事のメニューを変更し提供している。 テーブル拭きや食器洗い等、利用者の役割を残しながら支援することで、「助け合い」の大切さを、日々の暮らしの中で共に学んでいる。	

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>アレルギーのある方、摂取カロリーの制限のある方等、個々に合した支援を行っています。又、一日1000ml以上水分補給して頂けるように声かけを行い、摂取量をその都度確認しています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>必ず起床後・毎食後に声かけ、一部介助にて口腔ケアを行って頂き、夜には義歯の洗浄を行っています。必要時には、イソジンでのうがいをして頂き、口腔内の清潔に努めています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>声掛けや本人の希望により、トイレ誘導を行い、必要時には、排泄時に職員が付き添い、なるべくトイレでの排泄援助を行っています。</p>	<p>定期的に排泄の声掛けをするのではなく、本人の仕草や言動等から、排泄のパターンを把握し、職員が対応している。以前紙パンツで入居した利用者が布パンツに変わった事例もある。職員の腰痛に対しては、腰痛ベルト等を活用することで、介護負担の軽減を図っている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>食事量や水分摂取量を随時確認し、申し送り等で、職員同士が声を掛けあい、体操などでも便秘の予防を図っています。また、主治医と相談し指示があれば緩下剤も利用しています。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>週二回は入浴を実施し、本人の希望やペースで入って頂けるように、午前や午後、1対1の対応や同性の職員での対応により、ゆっくりと安心して入浴して頂いています。気分転換に、フロアで適時足浴も実施しています。</p>	<p>週に2回の入浴を基本とし、要望等があれば回数を増やしている。同性の職員での対応を基本とし、個々に応じた入浴の支援ができるように努力している。入浴を楽しむことができるよう、みかんやゆず等を活用し、お風呂でも季節を感じられるように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>ご本人の希望も聞き入れながら無 理なく生活が送れるように努め、 室内の温度調整や一人ひとりが 安心して休息できるように個室 対応で支援しています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>主治医が処方した内服は、かか りつけの薬局で管理してもらい、 薬の効果や副作用の職員がいつ でも確認できるようにファイルに 保管しています。不明な点等、 薬局の方に相談し、助言を頂く 事もあります。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>家事やぬりえ、歌や体操、季節 の展示品の作成等、一人ひとり の無理の無い範囲で本人の力を 活かし、気分転換をしていただ けるように支援しています。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう 支援に努めている。また、普段 は行けないような場所でも、本 人の希望を把握し、家族や地域 の人々と協力しながら出かける られるように支援している。</p>	<p>日光浴や散歩、車でのドライブ、 行事(初詣・花見)等で市内外 へ行くこともあります。職員と 一緒に買い物へ行かれたり、庭 の畑仕事ができるように環境 を整えています。</p>	<p>日光浴・散歩・買い物・行事 (初詣・花見)等で外出支援を 行っている。車でのドライブで は、利用者の馴染みの場所や 大切な思い出がある場所に行 くことで、家族や地域の人々 とのつながりが、維持できる ように支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、お 金を所持したり使えるように支 援している。</p>	<p>ご本人のお金の所持はトラブル の原因となるので行っていき ませんが、ご家族からの預り金 を施設で管理し、必要な際 には出すようにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご本人が希望されれば電話や手紙のやり取りが出来る様支援し、電話の際には、やり取りがしやすい様、環境整備にも努めています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>一日適時に換気を行い、毎朝掃除を行っています。季節の花や季節の物を入居者と一緒に作成し展示を行っています。季節感も感じ、共同で作成することで、居心地よく過ごして頂けるように工夫しています。</p>	<p>自然の風や太陽の光を積極的に採り入れ、居心地のよい空間づくりができるように工夫し、季節を感じる事ができるように、花や飾り等を活用している。</p> <p>介護計画に利用者個人の役割を明記し、居心地の良い共有空間を、皆でつくる事ができるように配慮しながら支援している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>テーブル席やソファ等、ご本人の好みのところへ自由に座って頂き、会話をしたり、テレビを観たり、趣味活動が出来る様に支援しています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>タンスや衣類、居室内の椅子等、使い慣れた物や好みのものを使用して頂き、ご本人が居心地よく安心して過ごせるように工夫しています。</p>	<p>カーテン・エアコン・換気扇以外は持ち込みが可能で、使い慣れたベッドや仏壇等の大切にしていたものを活かしながら、利用者にとって居心地の良い居室になるように努力している。</p> <p>年を重ねるごとに、写真や思い出の品物等が増え、利用者が居心地よく過ごせるように工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>手すりやバリアフリー等の環境整備で、安全な環境作りを行っています。</p>		

V アウトカム項目(すずらん) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 あやめが丘グループホーム

作成日 平成29年7月27日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		身体拘束をしないケアの実施	壁付2点柵の解除	研修に参加 1カ月に1度の会議を行いスタッフ全員で検討し、検討事項をご家族に報告する。記録にも残す。	6カ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。